

国際自由都市を目指す濟州特別自治道の取り組み

～2015 年度第 2 回韓国駐在地方公務員等連絡協議会兼クリアソウルセミナー～

ソウル事務所

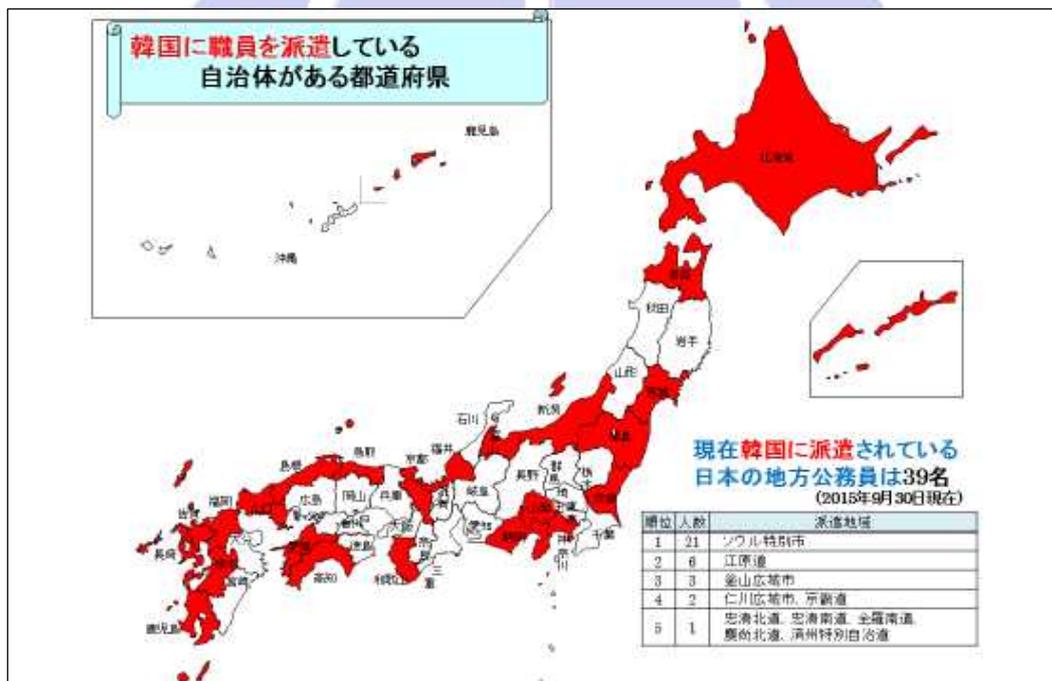
1 クリアソウルセミナーとは？

クリアソウル事務所では、韓国に駐在している日本の地方公務員等を対象として、国際交流分野（観光・物産・文化等）における知識向上・理解促進並びに駐在員として活動する上でのスキルアップ、そして人的ネットワーク形成等を目的として、年に 4 回「韓国駐在地方公務員等連絡協議会兼クリアソウルセミナー」（以下「クリアソウルセミナー」）を開催しています。

2015 年度第 2 回目のクリアソウルセミナーは、2015 年 9 月 2 3～24 日の日程で「国際自由都市を目指す濟州特別自治道の取り組み」をテーマに濟州特別自治道にて開催しました。

【今年度、韓国に職員を派遣している地方自治体が含まれる都道府県を赤色で表示。

2015 年 9 月 30 日現在、日本全国から 39 名※の地方公務員が派遣されている（※クリア集計）。】



2 2015 年度第 2 回目のクリアソウルセミナーの内容及び感想

(1) 視察 1 「濟州オルレ事務局」

濟州国際空港到着後、一路西帰浦市の濟州オルレ事務局に向かいました。

「オルレ」は、濟州島の方言で「通りから家に通じる狭い路地」という意味です。「濟州オルレ」は濟州島の自然を楽しむためのトレッキングコースの総称ですが、ウォーキングや登山が好きな韓国人を濟州島に呼び込むための重要なコンテンツとなっています。九州にも姉妹版「九州オルレ」コースが造成されるなど、日本からも注目を集めるオル

レについて、その沿革や、環境を大事にしたコンセプト、行政に頼らないビジネスモデルなどについてお話を伺いました。

講義の後は実際にオルレコースを歩く予定にしていたのですが、悪天候のためこの日のウォーキングは断念。雨の上がった次の日、島の北側のオルレコースを見学することができました。

○アンケートの声

「数人の市民が始めた活動が、ここまで大きく成功していることに感銘を受けた」

「オルレという非常に人気のあるレジャーの生まれた経緯、現在の運営状況について学べてよかった」 など



済州オルレのマスコット「カンセ」



事務局のみなさんと記念撮影

(2) 視察2 「済州国際平和センター」

韓国政府により「世界平和の島」に指定された済州島の取り組みを紹介するセンターを訪問しました。済州島で行われた首脳会談等に関する展示や、済州島が平和を象徴する島になった経緯や平和推進のための事業展開等について学びました。

○アンケートの声

「意外と知らなかった済州島の困難な歴史について勉強できた」

「平和の島に選定されていることを初めて知る機会になった」 など



土砂降りの中、センターを訪問



ガイドの説明に熱心に聞き入る参加者

(3) 視察3 「在濟州日本国総領事館」



寺澤総領事との意見交換

在濟州日本国総領事館では、主に濟州道に居住もしくは滞在する日本人が安心して生活できるような各種行政サービスを行っています。また、年間 1300 万人が訪れる観光地である利点を生かし、アニメフェスタなど日本の魅力を広報するための文化事業も展開しています。今回は寺澤総領事から直接お話をいただく機会にめぐまれ、参加者との間で日韓の地方間交流に関する活発な意見も交わされました。

○アンケートの声

「総領事からの熱意あふれるお話を聞かせていただき参考になった」

「ソウルとは異なる状況での日本の PR 方策の情報が有意義だった」 など

(4) 視察4 「濟州三多水工場(濟州特別自治道開発公社)」

韓国のブランドミネラルウォーターである「濟州三多水」の見学プログラムに参加しました。広報映像や広報展示、工場見学を通じて、火山島である濟州島ならではのミネラル分の豊富な地下水の管理・保全の状況について学びました。

○アンケートの声

「黒字を出し、地域に還元する水ビジネスモデルが素晴らしい」

「広報担当官の説明がわかりやすかった」
など



三多水の売上は地域に還元されている

(5) 視察5 「濟州石文化公園」



濟州島の象徴「トルハルパン」の野外展示

濟州石文化公園は、政府が実施した「文化・生態・観光資源評価」で石という地域の特色あるテーマを巧く表現し、官民事業の趣旨も生かした成功事例として A 等級の評価を受けた学習施設です。ここでは、神話から始まる濟州島の歴史を学び、濟州島独特の石文化の豊かさに触れました。

○アンケートの声

「火山島で石の多い濟州島において、昔から住民が石とともに生活してきた様子が伺えた」 など

(6) 視察6 「済州特別自治道庁」

済州道庁では権（クォン）行政副知事への表敬訪問を行いました。副知事は島根県で国際交流員として勤務された経験があり、日本との交流に対する思いについて、参加者へ近しく語りかけてくださいました。

また協治政策企画官室のキム・ナンジン氏からは「済州特別自治道の事業概要」についての講義をいただきました。済州道は他の自治体とは異なり特別に自治権を付与され、多くの独自政策を打ち出しています。その成功例や問題点などに関する講義は大変示唆に富んだものとなりました。

○アンケートの声

「副知事と面会する機会に恵まれ光栄だった」

「英語教育支援や外国人免税制度など済州道ならではの特殊な政策や問題点に関するレクチャーが印象に残った」 など



権行政副知事との意見交換



講師へ熱心に質問を寄せる参加者

3 今回のセミナーを開催して

今回のセミナーは雨模様の中、屋外の視察では不便な点もありましたが、韓国でも人をひきつけてやまない、済州島独自の自然や文化に触れることができました。また、ソウルから一番離れた自治体を訪問することで、いつもと違った視点から韓国と日本との関係を考えるきっかけともなりました。

セミナー後のアンケートでは「クリアソウルセミナーでなければ行くことができない場所を訪問できてよかった」「韓国本土とは違う、済州と日本との関係性について知ることができてよかった」等の感想をいただきました。この企画が参加者皆さまの韓国の地方や行政施策への理解を深めるための一助となったとすれば幸いです。

クリアソウル事務所では、今後も韓国駐在公務員の国際業務遂行に役立つ情報提供や機会の提供にさらに努力してまいります。

(森所長補佐 長崎県派遣)